

各 位

会 社 名 株式会社ラバブルマーケティンググループ

代表者名 代表取締役社長 林 雅之

(コード番号:9254、東証グロース)

問合せ先 執行役員 コーポレート本部管掌 中川 徳之

(TEL. 03-6381-5291)

資本業務提携、株式の売出し並びに主要株主である筆頭株主、 主要株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

当社は、2025年2月27日開催の取締役会において、AIフュージョンキャピタルグループ株式会社(以下「AIF社」といいます。)との間で資本業務提携契約(以下「本資本業務提携」といいます。)を締結することを決議いたしました。

それに併せ、当社の「主要株主である筆頭株主」である合同会社みやびマネージメント(以下「みやびマネージメント」といいます。)及び「主要株主」である株式会社日比谷コンピュータシステム(以下「日比谷コンピュータシステム」といいます。)が売主となり、AIF社が買主となる当社普通株式の市場外での相対取引による譲渡が合意されたところ、当該株式の譲渡(以下「本譲渡」といいます。)は売出し(以下「本売出し」といいます。)に該当いたします。

本取引の完了によって、当社の「主要株主である筆頭株主」、「主要株主」及び「その他の関係会社」の異動(以下「本件異動」といいます。)が生じることとなりますので、併せてお知らせいたします。

記

- I. 本資本業務提携について
- 1. 本資本業務提携の目的と理由

当社は、「人に地球に共感を」をパーパスとし、生活者の情報消費行動に寄り添う、共感を重視した愛されるマーケテ

ィング (Lovable Marketing) を推進するマーケティング企業グループで、「最も愛されるマーケティンググループを創る」というグループミッションを掲げております。その実現のため「中期経営計画」を策定し、2025年1月に公表いたしました。この計画の達成に向けた施策として、①既存事業の安定的成長、②新規領域(海外展開・インバウンドプロモーション、XR・Web 3) の早期立ち上げ、③M&Aによる非連続的成長により、2029年10月期までに売上高50億円以上、時価総額100億円以上の目標を掲げております。

一方、AIF社は2024年10月29日に中期経営計画(AI革命1.0)を策定し、様々なセクターの企業群の構造変革をもたらす可能性のある「第四次産業革命」と目されるAIを軸に、「自己投資事業」「ファンド事業」「PIPEs事業」「投資銀行事業」の4つの事業ドメインにおける戦略的投資・金融活動により日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2030年3月期には時価総額1,000億円を目標として掲げています。

AIF社との協議の中で、双方の持つ強みを活かし、巨大市場での事業機会を最大化するために、両者が連携し、相互に顧客を紹介したり、それぞれの強みを活かした新たな商品・サービスを提供したりすることが最適であろうとの合意に達したことから、本資本業務提携の締結を行うこととなりました。

2. 資本提携の内容

AIF社は、本譲渡において、当社の株主であるみやびマネージメントから2025年3月3日付けで、合同会社みやびマネージメントが保有する当社普通株式158,000株(2024年10月31日時点の発行済普通株式(自己株式及び単元未満株を除く。)1,223,200株の議決権に対する議決権比率12.92%(小数点以下第三位を四捨五入))を、市場外での相

対取引により取得します。また、日比谷コンピュータシステムから2025年3月3日付けで、日比谷コンピュータシステ

ムが保有する当社普通株式131,900株 (2024年10月31日時点の発行済普通株式 (自己株式及び単元未満株を除く。) 1,223,200株の議決権に対する議決権比率10.78% (小数点以下第三位を四捨五入)) を、市場外での相対取引により取得します。

3. 業務提携の内容と目的

当社とAIF社及びそのグループ会社は、両者の企業価値の向上を図ること等を目的とし、以下の事項について業務提携を実施致します。

- (1) 当社とAIF社及びそのグループ会社のそれぞれが強みを持つ、SNSマーケティング及びDX・AI関連技術の開発と導入、相互の商品、ブランド、及び事業の展開
- (2) 経営管理機能の共有、グループ間の顧客の連携
- (3) その他両当事者が合意した事項

当社とAIF社及びそのグループ会社の協業により、期待できるシナジー効果としては以下を想定しております。 ①顧客の相互紹介

AIF社及びそのグループ会社は、ファンド事業等により地域金融機関や地方公共団体との強いネットワークを有しており、弊社が展開するSNSマーケティングやインバウンド事業への顧客紹介が期待されます。

②新たなサービスの開発・提供

AIF社の連結子会社である株式会社ショーケースが持つDX分野やAI分野での技術力・サービス開発力と、AIF社のその他の投資先企業がもつ技術やサービスと、当社グループの強みであるSNSマーケティング等との連携により、新たなサービスの開発・提供をすることで売上高の増加が期待されます。

4. 本資本業務提携の相手先の概要

本資本業務提携の相手先である割当予定先の概要は、後記「Ⅲ. 「主要株主である筆頭株主」、「主要株主」及び「その他の関係会社」の異動の予定 3. 異動する株主の概要 (1) 新たに「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」となる株主の概要」をご参照ください。

Ⅱ. 株式の売出し

1. 売出要領

(1)	売出株式数	当社普通株式 289,900株
(0)	売出価格	1 株につき1,400円
(2)		売出価格については、売買当事者間において協議の上、決定されております。
(3)	売出価額の総額	405, 860, 000円
(4)	売出株式の所有者	合同会社みやびマネージメント 158,000株
(4)	及び売出株式数	株式会社日比谷コンピュータシステム 131,900株
(F)	売出方法	合同会社みやびマネージメント及び株式会社日比谷コンピュータシステムによ
(5)		るAIF社に対する市場外での相対取引による当社普通株式の譲渡
(6)	申込期間	2025年2月27日
(7)	受渡期日	2025年3月3日
(8)	申込証拠金	該当事項はありません
(9)	申込株数単位	1株
(10)	その他	上記については、金融商品取引法に定める有価証券通知書を関東財務局長に提
		出しております。

2. 売出しの目的

AIF社とみやびマネージメント及び日比谷コンピュータシステムとの間で、当社普通株式を市場外での相対取引により譲渡する旨の株式譲渡契約が締結されたことから、関係法令が定める手続きに則り、売出しにより本譲渡を行うことを目的とするものです。

Ⅲ. 「主要株主である筆頭株主」、「主要株主」及び「その他の関係会社」の異動の予定

1. 異動年月日

2025年3月3日

2. 異動が生じる経緯

上記「Ⅱ.株式の売出し」に記載のとおり、本取引が完了した場合、みやびマネージメントは当社の「主要株主である筆頭株主」に該当しないこととなります。また、日比谷コンピュータシステムは当社の「主要株主」に該当しないこととなります。

一方、AIF社は本取引によりみやびマネージメントから158,000株(議決権所有割合(注)12.92%)及び日比谷コンピュータシステムから131,900株(議決権所有割合10.78%)の当社普通株式を取得することで、当社の「その他の関係会社及び主要株主である筆頭株主」に該当することとなる見込みです。

(注)「議決権所有割合」の計算においては、当社が2025年1月30日に提出した第11期有価証券報告書に記載された総株主の議決権の数12,232個を分母として計算しており、小数点第3位を四捨五入しております。以下同様です。

3. 異動する株主の概要

(1) 新たに「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」となる株主の概要

(1)	名称	AIフュージョンキャピタルグループ株式会社			
(2)	所在地	東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート			
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 澤田 大輔			
(4)	事業内容	ベンチャー企業への投資及び投資事業組合の組成及びその管理・運営等 行うグループ会社の経営管理及びこれに附帯又は関連する業務			
(5)	資本金	100百万円(2024年	年10月1日現在)		
(6)	設立年月日	2024年10月1日			
(7)	連結純資産	- (注)			
(8)	連結総資産	- (注)			
(9)	大株主及び持株比率 (2024年10月1日現在)	株式会社DSG1 株式主新大佐 中本并沿 林師川塚古井 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本	24.54% 5.69% 1.36% 1.25% 1.12% 0.75% 0.68% 0.59% 0.57% 0.51%		
(10)	上場会社と 当該株主の関係	資本関係 人的関係 取引関係	該当事項はありません。 同社の社外取締役監査等委員が当社社外取締役を兼務 しております。 該当事項はありません。		

(注) 当該株主は、単独株式移転の方法により、2024年10月1日付でフューチャーベンチャーキャピタル株式会社の 完全親会社として設立された会社であり、設立後、事業年度が終了していないため、財務諸表を作成してお りませんが、2025年3月期第3四半期時点の連結経営成績及び連結財政状態は以下に記載のとおりです。

	2025年3月期 第3四半期
親会社の所有者に帰属する持分(百万円)	193
資産合計 (百万円)	8, 071
基本的1株当たり四半期利益(円)	24. 37
売上収益(百万円)	911

営業利益 (百万円)	372
税引前利益 (百万円)	373
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	193
1株当たり配当金(円)	_

(2) 「主要株主である筆頭株主」に該当しなくなる株主の概要

(1) 名称	合同会社みやびマネージメント
(2) 所在地	東京都港区赤坂2丁目10-2 吉川ビル2階
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 林 雅之
(4) 事業内容	資産管理会社
(5) 資本金	9,500,000円(2023年12月31日現在)

(3) 「主要株主」に該当しなくなる株主の概要

(1)	名称	株式会社日比谷コンピュータシステム
(2)	所在地	東京都江東区東陽二丁目4番38号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 飯田 耕三
(4)	事業内容	コンピュータシステムの開発事業 ソリューション事業
(5)	資本金	50百千円 (2024年4月1日現在)

4. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数(所有株式数)及び総株主数の議決権の数に対する割合

(1) AIフュージョンキャピタルグループ株式会社

	B.W.	議決権の数 (議決権所有割合)			十十十二 11百 (古
	属性		合算対象分	合 計	大株主順位
異動前					
(2024年10月31日現	_	_	_	_	_
在)					
	その他の関係会社及	2,899個		2,899個	
異動後	び主要株主である筆	(23. 70%)	_	(23. 70%)	1位
	頭株主	(23.70%)		(23. (0%)	

(2) 合同会社みやびマネージメント

	屋州	議決権の数(議決権所有割合)			十井 子順子	
	属性 -	直接所有分	合算対象分	合 計	大株主順位	
異動前 (2024年10月31日現 在)	主要株主である筆頭株主	3, 424個 (27. 99%)	-	3, 424個 (27. 99%)	1位	
異動後	主要株主	1,844個 (15.08%)	_	1,844個 (15.08%)	2位	

(3) 株式会社日比谷コンピュータシステム

	로 W+	議決権の数(議決権所有割合)			十十十十二十二十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
	属性	直接所有分	合算対象分	合 計	大株主順位
異動前 (2024年10月31日現 在)	主要株主	1, 319個 (10. 78%)	-	1,319個 (10.78%)	3位
異動後	_	_	_	_	_

- (注) 異動後の「大株主順位」は、2024年10月31日現在の株主名簿に基づき、当社において推定したものです。
- 5. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無 該当事項はございません。

6. 今後の見通し

本資本業務提携、本売出し及び本件異動に伴う当社の業績への影響につきましては、現在精査中であり、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上